

農林水産大臣賞（捕獲鳥獣利活用部門（団体））

ヤクシカによる農林業被害、自然環境及び景観への影響の問題を解決し、ヤクシカを食する食文化の定着や地域の活性化を目指し、平成29年に「屋久島ジビエ加工センター」を整備。島内外の飲食店等との連携、学校給食への提供など、屋久島のシカ肉の需要拡大及び認知度向上に貢献。

株式会社屋久鹿ジビエ王国

（代表取締役：福原 勝利）

主な取組

鹿児島県熊毛郡屋久島町

- 安心・安全なシカ肉の提供を目指し、衛生管理基準及びカットチャートによる流通規格の遵守、適切なラベル表示によりトレーサビリティの確保等に取り組むことを目的に、国産ジビエ認証を取得（令和3年2月）。
- 地元猟友会の協力のもと、捕獲から施設への搬入時間を止め刺し後、2時間以内と定め、徹底した個体判別と衛生管理のもと、高品質なジビエを提供。
- 厳しい衛生管理のもと、自社企画加工製品の製造や、ペットフードの企画開発販売にも着手。一頭まるごと、あるいは頭だけやスペアリブなどを動物園へ提供することで残渣処理量を削減。
- 全国への求人により屋久島町への移住と雇用の創出に貢献。初心者に対し、工場責任者の指導により、解体から精肉、加工へと段階を踏んで技術向上に取り組む。
- シカ肉の魅力を発信するとともに、卒業後の雇用につなげるため、島内の高校でシカ肉を通じた食肉文化の歴史など学ぶ授業を継続的に実施。

【シカによる被害金額（屋久島町）】

約24,232千円（活動開始前：平成24年度）→約1,944千円（令和4年度）